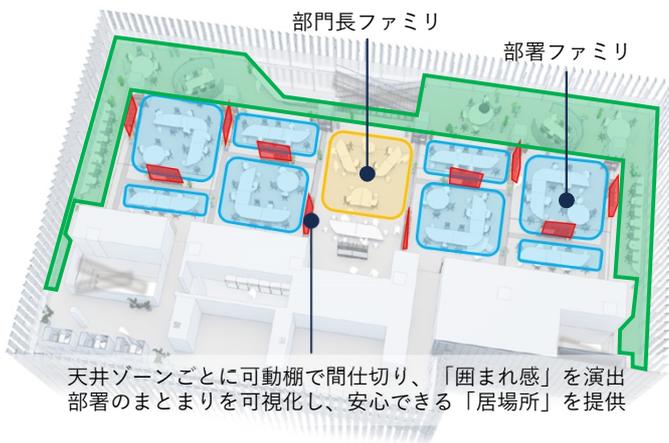


浜松いわた信用金庫 本部棟



撮影：鈴木文人

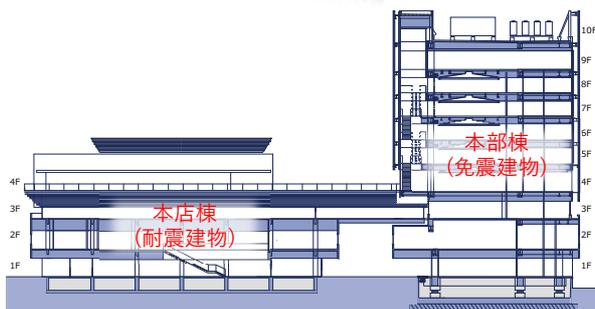
部署間の垣根をなくす大部屋とし、フリーアドレスではなく、グループアドレスとすることで、自主性・創造性を生むABWを取り入れる



構造計画や構造設計上の要点について

免震構造を採用することで、ロングスパン純ラーメン架構による大空間を実現し、銀行特有のグループアドレスを採用することで部署間の垣根をなくしてABWを実現しています。

メインの架構はSRC造とし、免震層上部を剛強にして免震効果を高め、先端の大きな片持ち架構はS造として軽やかにテラコッタルーバーを受ける計画としました。マリオンを兼ねる間柱で先端を繋ぐことで上下振動を抑制し、外装の脱落を防止しています。このように、テラコッタルーバーを水平・上下振動から解放することで取付け方に様々な工夫ができ、日射・視線制御のみならず、光害抑制、風環境の制御の観点でも寄与し、自然換気による心地よい風を室内に届けられるシステムを、免震構造により実現しています。また、建物固有周期帯の大きく異なる本店棟(耐震建物)と本部棟(免震建物)を接続することで、きわめて厳しい災害時にもいずれかの棟の機能維持を担保し、災害後も地域の経済インフラを支えることができるよう配慮しました。



免震構造により大スパンを実現し、耐震建物と接続
様々な階層のコミュニケーションを実現し
建物機能維持性能を向上



西本篤史 株式会社日建設計 構造設計部

担当者コメント

大きな片持ち架構によるバランスを制御するのに苦労したが、建築計画と整合した合理的な計画を提案できた。建物機能維持の観点で、免震建物の良さを引き出せたのではないかと考えている。

建築設計：株式会社日建設計
構造設計：株式会社日建設計
塚越治夫・平山操・西本篤史・谷口耕一
施工：大成建設株式会社
計画地：静岡県浜松市中区元城町114-7,-8,-9,-21,-22